

# プラスチック製器材の滅菌について

135℃以下で滅菌可能としているプラスチック製器材には耐薬性、耐熱性ともに優れた材質を使用しておりますが樹脂の特性上、残留したタンパク質汚れ、消毒に使用する薬品、オートクレーブの頻度などの影響で割れが発生することがあります。

タンパク質汚れなどが残留していますと器材に影響を及ぼすだけでなく、交差感染の危険性があるとも云われています。また、付着した汚れが残留していれば滅菌効果は得られません。

クラスBオートクレーブの高い滅菌性能を活かすため、且つプラスチック製器材の寿命を縮めないためにも正しく洗浄を行なった後に滅菌していただくことが重要です。

## 【予備洗浄】

水で汚れを洗い流します。血液汚れが残っている場合にはスポンジなどを用いて洗浄します。



直ぐに洗浄ができないときは血液凝固防止剤（ハイジーンプレミスト等）を使用して血液やたんぱく汚れの乾燥・凝固を防止してください



歯科用器具血液凝固防止スプレー  
ジーシー ハイジーンプレミスト



歯科用器具洗浄剤  
ジーシー ハイジーンウォッシュ  
酵素系洗浄剤

1Lタイプ新登場



## 【本洗浄】

ウォッシャーディスインフェクター（ハイパワーウォッシャー）や超音波洗浄器（ハイパワーソニック）を使用または酵素系洗浄剤（ハイジーンウォッシュ（0.5~2%希釈））に2~10分浸漬します。

### ウォッシャーディスインフェクター



※ハイパワーウォッシャーを使用する場合は酵素系洗浄剤をお使いください。

### 超音波洗浄器



※ハイジーンウォッシュは超音波洗浄器（ハイパワーソニック）にもお使いいただけます。

0.5~2%希釈 浸漬2~10分



ウォッシャーディスインフェクター  
ハイパワーウォッシャー HW-I



超音波洗浄器  
ハイパワーソニック HS-I



高温蒸気滅菌器  
Vacuklav 3I B+



## 【滅菌】

クラスBオートクレーブによる滅菌



超音波洗浄器を使用または酵素系洗浄剤に浸漬の場合は流水で洗浄剤を洗い流します。洗浄後は速やかに乾燥させてください。

※洗浄後に長時間放置すると、菌の繁殖などの危険性があるため、洗浄後は速やかに乾燥し滅菌を行なう必要がある。また、表面に水分が残っている場合、蒸気の浸透や温度上昇が不十分になってしまう恐れがあることから、十分に乾燥していることを確認しなければならない。

[医療現場における滅菌保証のガイドライン 2010 (日本医療機器学会) より抜粋]